

《音楽の授業の持ち物》

- 教科書 ○ファイル ○ポケット歌集 ○リコーダー（3年生以上） ○筆記用具
- タオル ○ビニール袋か巾着袋 ※これらを音楽バッグに入れて持ち運ぶ

授業における衛生面 及び「3密」（密閉・密集・密接）を避ける取り組み

◎入室時

- 教室移動前は、手洗いを済ませておく。

◎ドアと窓は開けておく。

- 窓は開けたまま、暑いときはエアコンと扇風機を稼働する。
- 暑さ対策としてタオルや水筒、保冷剤等の持ち込み、使用もOK。

◎持ち物は共有しない。

- 個人持ちの物（教科書・ファイル・歌はともだち・リコーダー・鍵盤ハーモニカ・音楽バッグ・防災ずきん・筆記用具等）は共有しない。忘れた場合は、児童同士の貸し借りはせず、教師が学年の物を貸し出す。

◎マスクの着用について

- 歌唱・リコーダーの演奏以外は、前後左右間隔を2mは開けることができないので、できるかぎりマスクを着用する。
- 熱中症防止の観点からどうしてもつらいときは、マスクを着用しなくてもよい。
- ハミングや母音唱は、マスクをはずして歌唱することもある。
- マスクをしていない時は会話はしない。
- 指導者は、必ずマスクを着用し、飛沫の拡散を防止する。

◎退室時

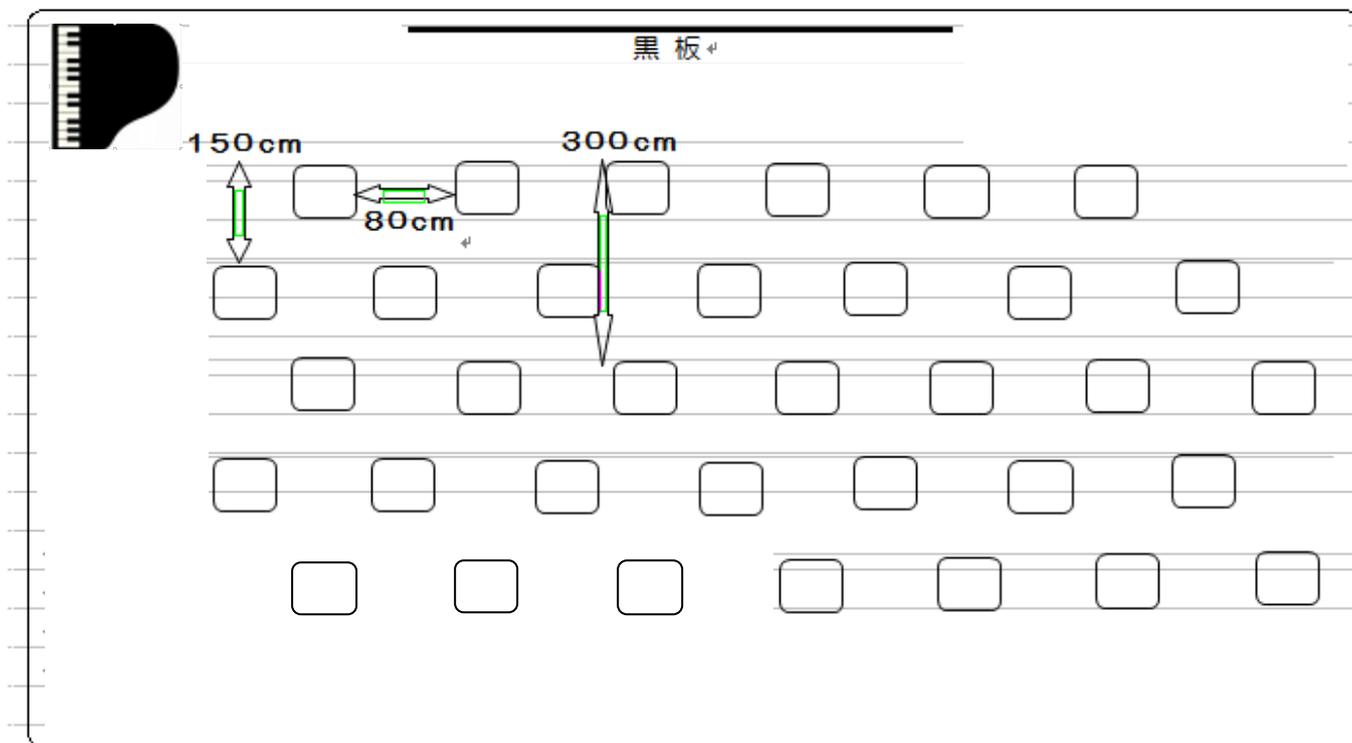
- 退室時の教室にもどり、手洗いをする。

「3密」及び「飛沫」を避ける取り組み

♪室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダー等の管楽器演奏を避ける取り組み

◎座席の配置

- 前後150cm、となりとの距離は80cmの間隔をとり、同じ方向を向く。
- 前後の椅子は縦にそろえず、ずらして配置することによって、縦同位置にすわる児童との距離を広げる。（次ページ図参照）



◎歌唱

- 基本的にはマスクを着けて歌唱する。
- 連続で15分以上歌わないようにする。
- ハミングや母音唱は飛沫リスクが少なく、前後の間隔も1.5mあるので、マスクをはずして歌唱することもある。

☆歌唱による飛沫距離：会話は最大1m、このことにより日常生活の安全距離は1.5m。咳は3m。
不自然な〔無理やり強い〕発音をした場合でも、2m飛沫感染に関する安全距離とみなすことができる。

◎リコーダー

- 通常の演奏はほとんど飛沫が飛ばないので、少しずつリコーダー学習は取り入れていく。
- 高音域の演奏時に少量の飛沫があるので、高音域はあまり取り入れない。座席は飛沫が届かない距離であるので、前を向いて取り組ませる。
- 強く息を吹き込む水抜きの際に飛沫が見られるので、水抜きは行わない。
- 楽器が暖まるとリコーダーの先から水分が垂れ落ちることがあるので、リコーダーの下に個人持ちのタオルを広げ、万が一水分がたれてきた場合に受けるようにする。タオルは周りの人に触れないように気をつける。
- 全体での演奏は、10分程度とする。

※タオルとリコーダー内部をそうじしたガーゼなどは、ビニール袋か巾着袋に入れて持ち帰り洗濯をして持ってくる。

◎鍵盤ハーモニカ

- 楽器からの飛沫は、ほとんど観測されていないが、楽器自体が全員個人持ちではなく、水分の含んだ楽器を多くの児童が使い回すことになる。手洗いの徹底で接触の感染は回避できるが、唄口（ホース）の扱いを徹底するには、低学年であるのでかなり難しい。唾液の含んだ水分が飛んでしまう心配があるので当分行わない。（1年生は、購入を見合わせている）
- 学校でミニキーボードを40台購入していただく予定。口もつけず、息も吹き込まずに音を出せるので、鍵盤ハーモニカに換えて、使用する。使用後は手洗いをする。

参考資料

ヤマハ 管楽器飛沫可視化実験結果より

《発音源付近の飛沫》.

リコーダー…明確な方向性を持った飛沫は観測されず。ただし高音域で少量の飛沫が時折観測。
接続部側からは飛沫は観測されず。
水抜き（勢いよく息を吹き込む）時に飛沫が観測。

《飛沫距離》.

くしゃみ…1 mを越える飛沫距離・広がりも1 mを越える
発声（強め）…飛沫距離も広がりも最大50 cm以上1 m未満
楽器演奏による飛沫の飛散距離と左右への広がりにおいては、くしゃみ、発声と同等以下であることが観測

【参考文献】

- 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～
(2020, 6, 16) 文部科学省
- 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～
の改訂について(2020, 8, 6) 文部科学省
- 合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン(2020, 6, 29) 全日本合唱連盟
- クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン (2020, 6, 11)
クラシック音楽公演運営推進協議会
- 合唱団のコロナ対策はどうしたらいいか？指揮者が提案する3密対策の練習方法と実際の進め方(2020, 7, 9)
- 管楽器飛沫可視化実験(2020, 6月) ヤマハミュージックジャパン
- リコーダー演奏時の飛沫可視動画と感染症対策(2020, 5, 27) トヤマ楽器製作株式会社